

# 目指せ3トン!周年被覆アスパラガス立茎栽培法

少雪温暖な道南・日胆地方は、  
周年被覆ハウスで栽培が可能！

冬期もハウスのビニールを  
剥がさないため、  
春芽収穫開始が1~3週間早く、  
夏芽の収穫ピークが長く続く(図1)

周年被覆ハウスは、  
露地越冬ハウスより  
多収(図2)

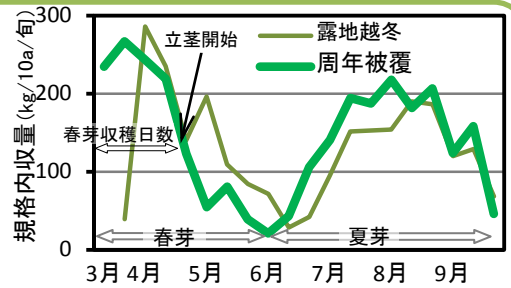
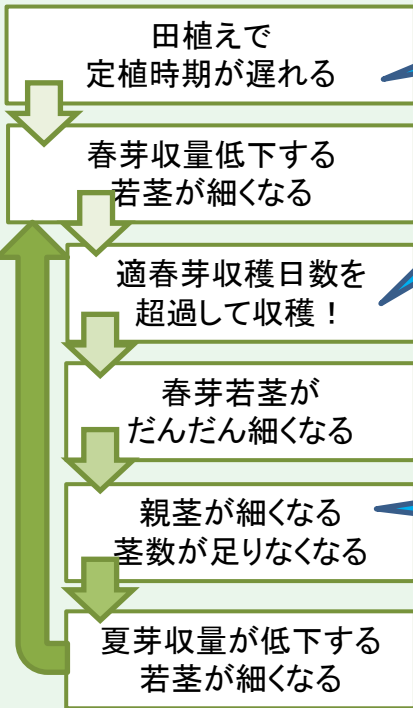


図1 周年被覆ハウスの規格内収量(2011年)

## 定植遅れと 過収穫による低収



## 周年被覆ハウスを利用した対策

定植は5月に行う  
6月定植は、2年間低収が続く(図2)。

適春芽収穫日数を守る(図2)  
2年生株10~20日  
3年生株30~45日  
4年生以降株35~45日

超過した場合は?  
翌年春芽収穫日数を  
30日に短縮する(図2)。

一斉立茎法、順次立茎法どちらも良い  
収量差はない(図2)。



立茎位置のバランスをとり、  
太い親茎を選ぶ  
萌芽する若茎が太くなる(図3)。収量は増えない。

窒素施肥量は、45kg/10a  
(露地立茎ハウスと同じ)  
立茎開始前の緩効性肥料で  
夏芽収穫期間中の追肥の省略が可能。

**留意点!**  
萌芽前に土壌診断に基づく施肥  
対応と堆肥相当分の減肥を行う

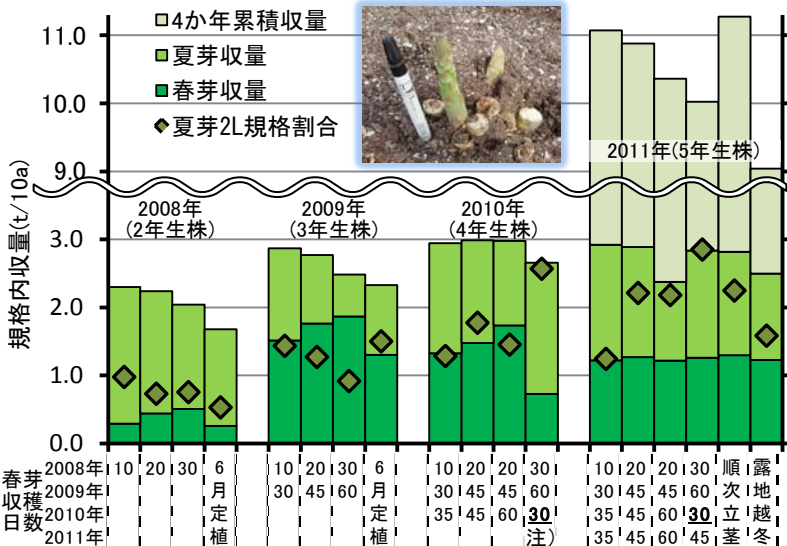


図2 春芽収穫日数、処理別の規格内収量、4か年累積収量(2008年~2011年)  
注)春芽収穫日数30日短縮区

## 目標! 春夏合計 3t/10a

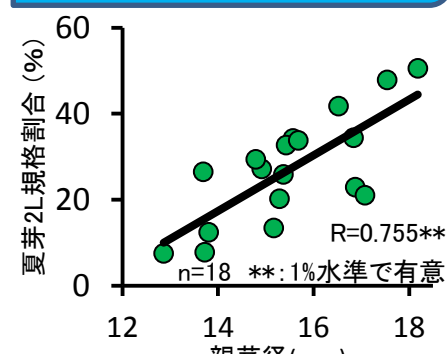


図3 親茎径と夏芽2L規格重量割合(2010年)